



高橋くにひこ市長に 平成27年度の予算要望を提出!

狛江市議会公明党は、10月7日第三回定例会終了後、市長公室にて高橋くにひこ市長に「平成27年度予算編成及び行財政運営に対する要望」を提出しました。

「ゆきとどいた福祉社会」「安全で安心な生活環境」等の

実現のため項目ごとに、狛江市議会公明党の政策や皆さまから頂いた貴重なご意見ご要望をおりませ、また決算審査での指摘事項も盛り込んだ要望を行いました。

私たちは『狛江に活力を』の取組目標を掲げ進みます。



平成25年度決算が認定されました!



平成25年度の決算規模は歳入総額256億9654万円、歳出総額246億6494万円、実質収支10億2550万円の黒字となりました。

高橋市長就任後、初めて編成した予算に対する今回の決算審査は、予算編成方針で示された6つの柱として掲げた重点項目が、どこまで実現出来たかを検証するものです。

所信表明の達成状況については、旧7小跡地に開設予定の特別養護老人ホームのスケジュールの遅れと、小規模多機能型居宅介護の運営法人選定が26年度の再選定になりましたが、その他の取り組みは概ね予定どおりの実施が確認できました。

中でも一番の課題であった徴収対策においては、担当課職員の一層の努力により収納率が向上した事は評価に

値します。

拡大を目指していた市職員の防災士は2名増という結果でありました。今後においては、資格を有する市民48名の方に狛江市の防災対策に関わっていただけるよう対応を要望します。

QUアンケートは学校や教師の側から見た分析だけを重視するのではなく、子どもたちの本音や本心をくみ取り、「目の前の一人を大切にする」クラスづくりへの取り組みを要望。セカンドブック事業の実施は大いに評価されるものです。

高橋市長を中心とした「日本一安心で安全なまちづくり」が、狛江市民7万8千名の実感として日々の生活の中で感じられる市政運営を強く要望し、狛江市議会公明党は平成25年度狛江市一般会計決算を認定しました。